

# “ならえび”臨床心理学のための 事例研究法入門：基礎編

斎藤 清二・武藤 崇  
三田村 仰・藤岡 勲

2015/5/17 (SUN) 10:00-18:00  
同志社大学継志館 2 階会議室  
(<http://pscenter.doshisha.ac.jp/access/index.html>)

Produced by  
同志社大学・実証にもとづく心理・社会的トリートメント研究センター(WEST) &  
同志社大学・心理臨床センター

## 【企画趣旨】

「ならえび」とは「ナラティブ&エビデンス」の略語を意味しています。日本において、この2つの用語は、相反する立場を表明することに使われてきました。しかし、この公開講座では、日々の対人援助文脈における事例研究の方法論の再構築について、その基礎から考え直し、今後の方途を具体的にご紹介することを目的としています。

## 【プログラム】（敬称略）

- 10:00-11:30 エビデンス臨床心理学と日本の現状（三田村 仰）
- 13:00-14:30 「ナラティブ」と「エビデンス」の統合という考え方（斎藤清二）
- 14:45-16:15 ならえび臨床心理学のための単一事例研究法の基礎（武藤 崇）
- 16:30-18:00 ならえび臨床心理学のためのプロセス研究の基礎（藤岡 勲）

## 【参加費】

一般：4,000円／学生：2,000円（当日受付にてお支払ください）  
なお、定員は60名となっております。定員上限数に達した時点でお申し込みを終了させていただきますので、予めご了承くださいませようお願いいたします。

## 【お申し込み方法】

メールにて、以下の要領でお申し込みをお願いいたします。

宛先：rc-psych@mail.doshisha.ac.jp

件名：【ならえび2015-基礎】参加申し込み

本文：1) お名前, 2) ふりがな, 3) ご所属と職名（あるいは学年）, 4) 受付確認メールの送信先